

思春期における『甘えと自立』

2019年11月17日(日)

9:30~15:30

広島医師会館 3階 健康教育室

広島市西区観音本町 1-1-1

広電バス3号線、広島駅から本通り経由で約30分
「観音マリーナホップ行」に乗り「新観音橋西バス停」下車

指定討論者

乾 吉佑 先生



専修大学 名誉教授

2009年日本精神分析学会 学会賞 受賞

2010年日本心理臨床学会 学会賞 受賞

著作：『医療心理学実践の手引き』（金剛出版）

『思春期・青年期の精神分析的アプローチ』（遠見書房）

監修：『生い立ちと業績から学ぶ精神分析入門』（創元社）

◇ 企画趣旨 ◇

このシンポジウムは、私たちの日常の心理臨床活動を検討し討論を深めていくことで、相互に交流しながら、思春期の心理臨床にとって大切な視点を共有していきたいというものである。

今回は、思春期における『甘えと自立』というテーマで考えてみたい。

日本の文化において『甘え』（土居）という概念は、こころのあり方やその発達を理解するうえで重要である。また最近の心理学の動向においても、『甘え』理論との関係が注目されているアタッチメント（愛着）理論の発展もみられている。

ところで、**心の健康を保ち、社会に適応するための土台である『甘え』**の重要性について、一般的にどの程度、着目されているのだろうか。私たち支援者は、子どもたちの幼く見える言動を「甘えている」と捉えたり、「どこまで甘えさせたらよいのか」と戸惑ったりすることも多い。また、子どもたちにおいては、うまく人に頼れず自分で抱え込んで身動きがとれなくなっていたり、問題行動や身体症状で示したりする（ゲームやネットなどに過度に依存し、抜け出せなくなることなど）様子が見られる。これらのことを『甘え』の視点で捉えていくことで、理解を深め、かかわりの手がかりを考えていけるのではないだろうか。

そこで今回は、思春期における『甘えと自立』の意味を考えつつ、子どもたちの援助にどのように役立てていくかについて考えてみたい。

進め方としては、シンポジストの方々に、それぞれが日常臨床の中から、今回のテーマについて、事例を素材にしながら話題提供をして頂いて、議論していく。指定討論者には引き続き、乾 吉佑氏にお願いする。思春期心理臨床にとって大切なことがワクワクとしかも実感を持って感じられるシンポジウムにしていきたいと思う。思春期の子どもとかかわる心理臨床家のみならず、教育、医療、福祉など幅広い領域の方々のご参加を呼びかけたい。

参加対象者：臨床心理士、教員、医師、守秘義務を持つ専門家・援助者、大学院生

定 員：80名

参加費：5,000円（シンポジウム開催運営経費として）

※参加には、事前の申込みが必要です。申込用紙はホームページからダウンロードできます。

主 催：ひろしま思春期シンポジウム実行委員会・杉原心理相談室

事務局：メイプル

後 援：広島市教育委員会・広島思春期問題研究会

※ひろしま思春期シンポジウムホームページ

<http://shisyunkisympo-h.sakura.ne.jp/>

※臨床心理士ポイント申請予定

ひろしま思春期シンポジウム「思春期の心理臨床を考える⑭」プログラム

9:00 受付開始

9:30 ミニレクチャー 「思春期における『甘えと自立』」
岡田 幸彦（トポスの森）

10:00 シンポジストから話題提供

司 会 岡田 幸彦（トポスの森）
井上 房美（広島県立障害者療育支援センター）
指定討論者 乾 吉佑先生（専修大学名誉教授）

話題提供者

- *学校現場の立場から 安部 千賀子（広島県立海田高等学校）
「個と集団を抱える短時間継続面接のこころみ」
- *小児科の立場から 湊崎 和範（広島西医療センター小児科）
「不登校の事例を『甘え』の視点で考える」
- *精神科の立場から 井上 真一（瀬野川病院精神科）
「複雑性 PTSD が疑われた女子高生の事例」
- *心理臨床の立場から 杉原 太郎（杉原心理相談室）
「自立するための『甘え』を考える～秘密を持つこと・こころに境界線を引くこと」

12:00 休憩

13:00 討議 「思春期における『甘えと自立』」

司 会 岡田 幸彦 井上 房美
指定討論者： 乾 吉佑先生 ・ シンポジスト ・ フロア

15:30 閉会

シンポジウム開催経緯

- 2006年 9月 日本心理臨床学会にて、自主シンポジウム「思春期の心理臨床を考える①」を開催
テーマ「不登校・発達障害児を対象とする活動集団療法から学ぶ」
指定討論者 国際基督教大学教授 小谷 英文先生
- 2007年 10月 第2回「思春期の子の新しい対象関係の体験をどう援助するか」以下広島で開催
指定討論者 専修大学文学部心理学科教授 乾 吉佑先生
- 2008年 10月 第3回「思春期と対象喪失」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2009年 10月 第4回「思春期と幼児化」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2010年 11月 第5回「思春期と構造化」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2011年 10月 第6回「思春期の“自分”と“自分がない”を考える」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2012年 10月 第7回「思春期とこころのスウィッチング」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2013年 10月 第8回「思春期と現代の自己愛」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2014年 10月 第9回「思春期とコミュニケーションの障害」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2015年 11月 第10回「思春期における『幼児化』と『構造化』」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2016年 9月 第11回「思春期における『対象』と『かかわり』」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2017年 10月 第12回「こころのシャッターをおろす子どもたち」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2018年 11月 第13回「思春期と対象喪失」 指定討論者 乾 吉佑先生

【ひろしま思春期シンポジウム実行委員会】

実行委員長：橋本智恵美

実行委員：井上真一 井上房美 大原一祐 岡崎彩 岡田幸彦 杉原太郎 湊崎和範 宮川悦子

【ひろしま思春期シンポジウム事務局】

メイプル 広島市安佐南区緑井1丁目27-1-104 FAX(082)876-4332 E-mail shisyunkisymposium@yahoo.co.jp